昭和28年創刊
教育学術新聞
教育学術新聞
東京都千代田区九段北4－2－25　私学会館内
編集兼発行人小出秀文
ＴＥＬ　03(3261)7048
ＦＡＸ　03(3261)0769
毎週水曜発行(第５水曜休刊)
購読料　年4800円(税込)
©教育学術新聞 2025
www.shidaikyo.or.jp

2025年
新春特集号

〈もくじ〉
●新春座談会　少子化を乗り越える高等教育の未来＝小原芳明氏、苫米地司氏、大森昭生氏、石田優子氏、小出秀文氏（司会）……1面～4面
●年頭所感　日本私立大学協会会長・副会長……4面～5面
●湯けむりの街　別府と八幡神　飯沼賢司……6面
●大学教育のこれからにおけるティーチング・ポートフォリオの意義と可能性　栗田佳代子……7面
●「いのち輝く未来都市」大阪・関西万博の春へ……8面
●近年のネパールの教育事情　長岡智寿子……9面
●私学関係者紙上名刺交換……8～11面
●玉川大学出版部刊行図書……12面

2025年

少子化を乗り越える高等教育の未来

新春座談会

私学こそが「知の総和」高める
今こそ連携を加速させよ

2025（令和7）年の新春を迎え、本紙では「少子化を乗り越える高等教育の未来」をテーマに、日本私立大学協会の小原芳明会長をはじめとする別掲の5氏による新春座談会を開催した。令和5年に中央教育審議会に諮問された「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について」の審議は最終局面を迎え、答申が目前となっている。予測困難な時代を見据えて、今後の私立大学の在り方、同協会の目指す方向性について論じてもらった。（令和6年12月上旬実施）

小出：新年あけましておめでとうございます。本年も私学振興に邁進してまいる所存です。

今年は、乙巳（きのと・み）の年回りで、「乙（きのと）」は陰陽五行説の中で「木」を表すとされ、しなやかに伸びる草木のごとく、困難があっても紆余曲折しながら進むことを表しているということです。「巳（み）」は蛇のイメージから「再生と変化」を意味しており、脱皮し強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、または神の使いとして信仰されてきました。そうした加護を受け、全国の私立大学は力強く歩みだしたいところです。

昨年は、コロナ禍の影響はだいぶ弱まりましたが、1月1日に発生した能登半島地震では大変な被害が出ました。私も被災地の加盟大学を訪問しましたが、市街地はともかく中山間地域では、現在もなかなか復興が進まない様子をメディアで見ると心が痛みます。被災された方々や地域の一日も早い復興を祈念いたします。

一方、ロシアのウクライナ侵攻は膠着状態が続いているようですし、パレスチナのハマスに端を発するイスラエルとの対立も収束の兆しが見えません。年末には韓国で政変が起きかけ、この1月にはアメリカでドナルド・トランプ氏が再び大統領の座に就きます。

国内に目を向けますと、18歳人口は想定以上に減少し、特に地方部は急速に疲弊しています。新しい石破茂政権は、地方創生に力を入れるとのこと、強く期待をしたいところであります。

高等教育政策については、各学校法人において、私立学校法の改正による寄附行為の変更の対応に追われた1年でした。また、このたびの座談会のメインテーマに関わる、中央教育審議会大学分科会「高等教育の在り方に関する特別部会（以下、特別部会）」では、特に「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」答申の積み残しである高等教育の規模や、財政措置の問題などを審議しています。このたびお出ましをいただきました大森先生は副部会長として、特に地方私立大学の立場からの高等教育政策を力強く訴えていただきましたし、ヒアリングにおいては小原先生にお出ましをいただき、多くの地方私立大学が加盟する私大協の立場を表明していただきました。そのうちのいくつかの提言は答申案にも盛り込まれています。

更には、昨年度から私立大学でも合理的配慮が法的義務になりました。この取り組みも私立各大学で試行錯誤をしながら進めていると聞いています。加えて、電気代の高騰、円安による留学費の高騰など、経済面でもかなり大変な状況であるという話を加盟大学から聞いてございます。冒頭にも申しました通り、能登半島地震など自然災害も多発しており、学生たちの命を守る大学の危機管理も重要テーマであります。

さて、2025年「新春座談会」ですが、各地域で活躍されている大学理事長や学長の皆さまにご参集いただいています。少子化が進む時代の激動期にあって、私立大学はどのように行く先を見据えるべきか。皆さまから、忌憚のないお話を伺いたいと考えています。

出　席　者　〈順不同〉
小原芳明氏（日本私立大学協会会長、玉川大学理事長・学園長）
苫米地司氏（日本私立大学協会副会長・北海道支部長、北海道科学大学理事長）
大森昭生氏（共愛学園前橋国際大学学長）
石田優子氏（広島経済大学学長）
司会＝小出秀文氏（日本私立大学協会常務理事・事務局長、教育学術新聞編集兼発行人）

前列左から石田氏、小原氏、苫米地氏、後列左から小出氏、大森氏

改正私学法への対応

まずは2024年を振り返って、そして、今年の抱負について、先生方からご感想・ご意見をいただければと思います。玉川大学の小原先生からいかがでしょうか。

小原：新年あけましておめでとうございます。

昨年の新春座談会では、改正私学法についてかなりの時間を割きました。議論してよく分かったのは、よく「私学はひとつ」と言いますが、むしろ皆それぞれ違う考えを持っていて、条文を調整するのが困難なことでした。その結果、法人を大臣所轄と知事所轄に分けたことです。

それを受けて、各法人においては、寄附行為変更、理事会や評議員の選出など、この過程で色々と御苦労があったことでしょう。今年4月から施行されますが、まさにこれから、予見できなかった課題が必ずでてきます。そういった課題を拾い、解決策を示すお手伝いが、私大協にとって重要だと感じています。

小出：ありがとうございました。それでは昨年、法人創立100周年を迎えられた北海道科学大学の苫米地先生、いかがでしょうか。

苫米地：あけましておめでとうございます。

昨年は本法人100周年ということで、私大協の皆様には大変お世話になり、改めてお礼申し上げます。また、私学法改正に伴う寄附行為の変更、理事・評議員の選任で北海道の加盟大学は大変なご苦労をされたことと思います。北海道では、理事や評議員の適任人材が不足している感もあり、バッティングするようなこともあったと聞いております。本法人は、改正私学法への対応が終了し、ほっとしているところでございます。

ここ数年、文部科学政策に翻弄されてきた、という強い思いがあります。もちろん政府の政策は気にはしますが、これに追随するだけの法人運営、大学運営をしていたら行き詰まるという認識を持っています。現在、本法人では5年の中期計画を作成中ですが、時代の変化に合わせて逐一変化の先を見据えて改訂していく必要があると考えています。

ご存知の通り、北海道は課題先進地域と言われています。津軽海峡を隔てて、地方大学の改革に必要とされるプラットフォーム形成など、本州に比べて対応が遅れているように感じています。現在、北海道支部では、「プラットフォーム」形成の検討を進めているところです。また、本学としては道内2大学との三者間で連携協定を締結し、手始めに入試会場を共有し、基礎教育科目の相互乗り入れを検討しているところです。今年は更にその動きを加速させて、北海道の私立大学の協力基盤を強固にしていきたいと考えております。

小出：続いては、広島からお出ましをいただきました。「興動館教育」という人間教育の私学をしっかりと進めておられる広島経済大学の石田先生、よろしくお願いいたします。

石田：あけましておめでとうございます。

ご紹介いただいた「興動館教育」は、2006年に開始した本学のユニークな教育プログラムで、少人数科目と学生主体のプロジェクト活動の2つの柱から成り、人間力養成を目指しています。「待ち人間になるな、行動せよ」と学生に伝えております。

本学が所在する中・四国地方は、特に少子化が厳しいです。東京や関西圏に流出する一方、九州からの流入は多くありません。昨年、広島の私立大学はほぼ定員割れとなりました。厳しい状況が続く中では、大学の行く末をどうしようかと悩む日もあると思います。そうしたとき、自分たちは何を信じて教育をするのか、何のためにここで踏ん張るのかという、自分たちの教育者の「矜持」が柱になると感じています。私たちは、私たちが設定した育成すべき人材像「興動人」こそ、次代を担う人材と考えています。目の前にいる学生をしっかり育てるため、より良い教育を目指し続けるとともに、そのことを正しく社会に発信しようと、広報活動にも取り組んだ1年でした。

それから、いま本学では、国際化に力を入れています。大都市にしかチャンスがないということはないですよね。それに、広島は国際都市です。大都市を経由する必要はなく、ここから直接海外に飛んでいけばいいのです。本学では2022年、私の在広島カナダ名誉領事就任を機に名誉領事館を開設したこともあって、昨年はカナダの大学と提携もしました。国際交流は楽しいことです。若者の交流が導く平和の実現を目指すことも、広島の大学の役目だと思います。今年もそれを継続・発展させていきたいです。

「フェーズが変わった」

小出：最後となりましたが、共愛学園前橋国際大学の大森先生、よろしくお願いいたします。

大森：あけましておめでとうございます。

2024年のもっともショッキングだった出来事は、6割の私立大学が定員割れをしたということです。これにはフェーズが変わったなと感じました。それまでは「定員割れをするのはその大学の努力や頑張りが足りない部分もあったからだろう」という

（2面へつづく）

A·PUJ ASSOCIATION OF PRIVATE UNIVERSITIES OF JAPAN SINCE 1946
謹賀新年 2025

私立大学の多様な価値追求と創造的挑戦
会　長　小原　芳明
副会長　苫米地　司　副会長　黒田　壽二
〃　高柳　元明　〃　後藤　泰之
〃　瀬戸熊　修　〃　谷岡　一郎
〃　浜本　隆之　〃　鶴　衛
〃　福井　一光　〃　津曲　貞利
日本私立大学協会　Tel.03-3261-7048　Fax.03-3261-0769
〒102-0073東京都千代田区九段北4-2-25（私学会館別館9階）

日本私立大学協会加盟大学
加盟417大学
2025年1月現在

北海道：育英館大学、札幌大学、札幌大谷大学、札幌学院大学、札幌国際大学、札幌保健医療大学、星槎道都大学、天使大学、日本医療大学、函館大学、藤女子大学、北翔大学、北星学園大学、北海学園大学、北海商科大学、北海道医療大学、北海道科学大学、北海道千歳リハビリテーション大学、北海道文教大学、北海道武蔵女子大学短大部、酪農学園大学

青森県：青森大学、八戸工業大学、青森中央学院大学、弘前医療福祉大学、柴田学園大学、弘前学院大学、八戸学院大学

秋田県：秋田看護福祉大学、ノースアジア大学

岩手県：岩手保健医療大学、富士大学、盛岡大学

山形県：東北芸術工科大学、東北文教大学

宮城県：尚絅学院大学、仙台大学、東北医科薬科大学、東北工業大学、東北生活文化大学、東北福祉大学、東北文化学園大学

福島県：医療創生大学、東日本国際大学、奥羽大学、福島学院大学、郡山女子大学

栃木県：足利大学、宇都宮共和大学、国際医療福祉大学、作新学院大学、文星芸術大学

茨城県：茨城キリスト教大学、日本ウェルネススポーツ大学、日本国際学園大学

埼玉県：浦和大学、共栄大学、埼玉医科大学、埼玉学園大学、埼玉工業大学、十文字学園女子大学、尚美学園大学、女子栄養大学、駿河台大学、東都大学、東邦音楽大学、日本医療科学大学、日本工業大学、日本保健医療大学、日本薬科大学、人間総合科学大学、平成国際大学、武蔵野学院大学、明海大学

千葉県（左上参照）：愛国学園大学、植草学園大学、江戸川大学、開智国際大学、亀田医療大学、川村学園女子大学、神田外語大学、敬愛大学、三育学院大学、淑徳大学、聖徳大学、千葉科学大学、千葉経済大学、千葉工業大学、千葉商科大学、中央学院大学、東京基督教大学、麗澤大学、和洋女子大学

東京都（左上参照）：麻布大学、神奈川大学、神奈川工科大学、神奈川歯科大学、鎌倉女子大学、相模女子大学、産業能率大学、松蔭大学、湘南医療大学、湘南鎌倉医療大学、湘南工科大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、鶴見大学、田園調布学園大学、桐朋学園大学、日本映画大学、横浜商科大学、横浜創英大学、横浜美術大学、横浜薬科大学

静岡県：静岡英和学院大学、静岡産業大学、静岡福祉大学、静岡理工科大学、聖隷クリストファー大学、常葉大学、浜松学院大学

山梨県：健康科学大学、身延山大学、山梨学院大学

長野県：佐久大学、清泉女学院大学、松本大学、松本歯科大学

新潟県：国際大学、長岡大学、新潟医療福祉大学、新潟経営大学、新潟工科大学、新潟国際情報大学、新潟産業大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、新潟リハビリテーション大学

富山県：高岡法科大学、富山国際大学

群馬県：育英大学、共愛学園前橋国際大学、群馬医療福祉大学、上武大学、高崎健康福祉大学、高崎商科大学、東京福祉大学

石川県：金沢医科大学、金沢学院大学、金沢工業大学、金城大学、北陸大学、北陸学院大学

福井県：仁愛大学、福井工業大学

岐阜県：朝日大学、岐阜医療科学大学、岐阜協立大学、岐阜女子大学、岐阜聖徳学園大学、岐阜保健大学、中京学院大学、中部学院大学、東海学院大学

愛知県：愛知学院大学、愛知学泉大学、愛知工科大学、愛知工業大学、愛知産業大学、愛知淑徳大学、愛知東邦大学、愛知文教大学、愛知みずほ大学、一宮研伸大学、桜花学園大学、岡崎女子大学、金城学院大学、至学館大学、修文大学、椙山女学園大学、星城大学、大同大学、中部大学、東海学園大学、同朋大学、豊橋創造大学、名古屋音楽大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学、名古屋経済大学、名古屋芸術大学、名古屋産業大学、名古屋商科大学、名古屋女子大学、名古屋造形大学、名古屋文理大学、名古屋柳城女子大学、日本福祉大学、人間環境大学、名城大学

滋賀県：成安造形大学、びわこ学院大学、びわこ成蹊スポーツ大学

奈良県：畿央大学、帝塚山大学、奈良大学、奈良学園大学

和歌山県：和歌山信愛大学

三重県：鈴鹿大学、鈴鹿医療科学大学

大阪府（左上参照）：藍野大学、大阪青山大学、大阪大谷大学、大阪音楽大学、大阪経済大学、大阪観光大学、大阪経済法科大学、大阪芸術大学、大阪工業大学、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪歯科大学、大阪樟蔭女子大学、大阪商業大学、大阪信愛学院大学、大阪成蹊大学、大阪総合保育大学、大阪体育大学、大阪電気通信大学、大阪人間科学大学、大阪保健医療大学、関西医療大学、関西外国語大学、関西福祉科学大学、近畿大学、滋慶医療科学大学、四條畷学園大学、四天王寺大学、摂南大学、千里金蘭大学、相愛大学、太成学院大学、宝塚大学、帝塚山学院大学、常磐会学園大学、羽衣国際大学、東大阪大学、森ノ宮医療大学、大和大学

東京都：桜美林大学、大妻女子大学、嘉悦大学、北里大学、杏林大学、国立音楽大学、工学院大学、国士舘大学、駒沢女子大学、昭和大学、昭和薬科大学、女子美術大学、白梅学園大学、杉野服飾大学、高千穂大学、多摩大学、玉川大学、多摩美術大学、帝京大学、帝京平成大学、東京医療学院大学、東京医療保健大学、東京音楽大学、東京家政大学、東京家政学院大学、東京工科大学、東京工芸大学、東京純心大学、東京女子体育大学、東京聖栄大学、東京成徳大学、東京造形大学、東京電機大学、東京都市大学、東京富士大学、東京未来大学、東京薬科大学、東京理科大学、桐朋学園大学、二松学舎大学、日本医科大学、日本歯科大学、日本社会事業大学、日本獣医生命科学大学、日本女子体育大学、日本赤十字看護大学、日本体育大学、日本文化大学、文化学園大学、文化ファッション大学院大学、文京学院大学、星薬科大学、武蔵野音楽大学、明治薬科大学、明星大学、目白大学、ヤマザキ動物看護大学、ルーテル学院大学

（都道府県別50音順に掲載　※は準会員）

長崎県：鎮西学院大学、長崎外国語大学、長崎国際大学、長崎純心大学、長崎総合科学大学

佐賀県：西九州大学

福岡県：九州栄養福祉大学、九州共立大学、九州国際大学、九州情報大学、九州女子大学、久留米工業大学、純真学園大学、西南女学院大学、聖マリア学院大学、第一薬科大学、中村学園大学、西日本工業大学、日本経済大学、福岡工業大学、福岡国際医療福祉大学、福岡歯科大学

熊本県：九州看護福祉大学、九州ルーテル学院大学、熊本学園大学、熊本保健科学大学、尚絅大学、崇城大学、平成音楽大学

大分県：日本文理大学、別府大学

宮崎県：九州医療科学大学、南九州大学、宮崎国際大学、宮崎産業経営大学

沖縄県：沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄国際大学

鹿児島県：鹿児島国際大学、鹿児島純心大学、志學館大学、第一工科大学

山口県：宇部フロンティア大学、東亜大学、梅光学院大学、山口学芸大学

島根県：

鳥取県：鳥取看護大学

広島県：エリザベト音楽大学、比治山大学、広島経済大学、広島工業大学、広島国際大学、広島文化学園大学、広島文教大学、福山大学、福山平成大学、安田女子大学

岡山県：岡山学院大学、岡山商科大学、岡山理科大学、環太平洋大学、吉備国際大学、倉敷芸術科学大学、くらしき作陽大学、山陽学園大学、就実大学、中国学園大学、美作大学

兵庫県：芦屋大学、大手前大学、関西国際大学、関西福祉大学、甲子園大学、甲南女子大学、神戸医療未来大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸国際大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女子大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸薬科大学、宝塚医療大学、姫路大学、兵庫大学、武庫川女子大学

京都府：京都外国語大学、京都橘頂育大学、京都芸術大学、京都光華女子大学、京都情報大学院大学、京都女子大学、京都先端科学大学、京都ノートルダム女子大学、京都美術工芸大学、京都文教大学、京都薬科大学、嵯峨美術大学、花園大学、佛教大学、平安女学院大学、明治国際医療大学

愛媛県：

香川県：四国学院大学、高松大学

徳島県：四国大学、徳島文理大学

高知県：